

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月28日		記入者	内線	2712
部名	経済部	課名	商業観光課	課長名	加藤一嘉
事務事業名	商店街振興支援事業				
予算上の事務事業名	商店街近代化事業補助金				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		31420		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第4節 商業・サービス業の振興				事業開始年度
施策名	第2施策 にぎわいのある商店街づくりの支援				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市商店街近代化事業補助金交付要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 助成(給付・補助・貸付) ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
商店街団体が実施する近代化事業に要する経費の一部を助成することにより、事業の推進を促すとともに安全で安心な買物環境を創出し、消費者の利便向上を図るなどにぎわいのある商店街づくりを支援する。			商店街団体		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<ul style="list-style-type: none"> ・商店街共同駐車場維持補助金・・・7,451千円(交付先7団体、8駐車場、補助率-賃借料の40%) ・商店街街路灯電気料補助金・・・19,180千円(44団体、2,764基分、補助率-年間電気料(1月～12月)の70%) ・市営自動車駐車場回数券商店街共同購入事業補助金・・・310千円(3商店会、補助率-事業費の30%) ・商店街街路灯修繕費補助金・・・721千円(3商店会、補助率-事業費の30%) ・公衆浴場設備整備費補助金・・・1,262千円(5浴場、補助率-事業費の25%) 					
6 関連・類似事業や他市の状況					
県内他市においても本市と同様の助成制度が設けられている。助成制度の内容を比較した場合、助成対象や助成率等においては大きな違いはないと考える。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	33,683	35,117	28,924	32,909	32,909
一般財源	33,683	35,117	28,924	32,909	32,909
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	2,517	2,403	2,421	2,421	2,421
事業コスト合計(a)	36,200	37,520	31,345	35,330	35,330
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	商店街街路灯電気料補助金			対象名称(単位)	商店街団体
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	19,851	19,696	19,180	21,358	21,358
対象数	45	45	44	44	44
単位あたり経費(円)	441,133	437,689	435,909	485,409	485,409
前年度比		0.99	1.00	1.11	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	補助金制度活用商店街団体数	指標式と指標の説明	補助金制度活用商店街団体数 / 市内商店街団体数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	45.0	45.0	44.0		
目標	67.0	67.0	67.0	65.0	65.0
目標達成度	0.67	0.67	0.66		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	「日常の買物」に対する満足度	指標式と指標の説明	「市政に関する世論調査」の内、「地域の生活環境に関する質問で、「日常の買物が便利と感じている」と回答したものの		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	72.0	調査なし	71.9		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	72.0		71.9		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 地域特性や消費者ニーズに適合した取り組みを商店街が主体的に進められるよう、効果的な助成制度の検討を行う。			14 課題として認識されたこと にぎわいのある商業地づくりのため、これまではハード整備を中心に進めてきたが、今後は環境整備の効用や地域特性を生かしたソフト施策の充実に努める。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
商業者に対する支援策全体の見直しを進める中で、本補助制度の成果等の検証を踏まえ、見直しを進める。					